

ボトルヘッド 2 種類付

コーティングを
しておくだけで

たった
10分後には
99.9%の

ウイルスを撃退!

コーティングだから

最大 **3** か月間、
効果が持続。

コーティングなのに

タオルに
染み込ませて
拭くだけ!



面倒だった
消毒の日々と、
ついにサヨナラです。

内容量 250ml

日本生まれの、全く新しいコーティングスプレー。



V

抗ウイルス
抗 菌

S

VS〈ブイエス〉

内容量オリジナルサイズ

製造販売元：株式会社大川 東京都品川区荏原 6-11-10

動画での詳細説明や
お問い合わせはコチラ



新型コロナウイルスへの有効性が公的試験機関で実証された
コロナ感染予防の最終兵器です!

病院や市役所、駅、空港、食品工場など導入実績多数!

接触感染を徹底的に防ぐ、全く新しいコーティングスプレー。

飲食店やご自宅のトイレ・テーブルなど接触が多い部分をサッと拭き上げるだけで、ウイルスたちの感染力を奪います!

抗菌・抗ウイルスのメカニズム

VSは新型コロナへの有効性が確認されている「第4級アンモニウム塩」を成分としており、これがコーティング面に付着した各種ウイルスのエンベロープ膜を破壊し撃退します。

VSは、公的検査機関で「新型コロナウイルス」への有効性が実証されております。(抗ウイルス活性値: ≥ 3.2)

検査機関: 日本繊維製品品質技術センター

抗ウイルス・抗菌成分が塗布された箇所▼

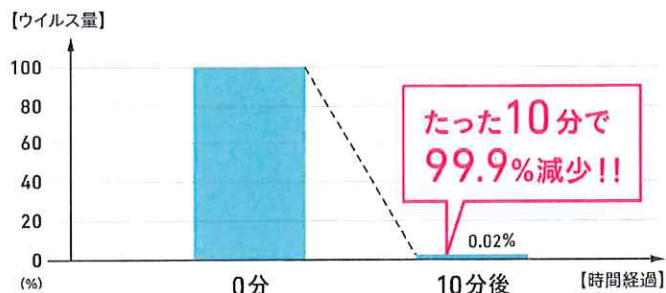
ウイルス不活性化から死滅までの流れ(一例)

①VSを塗布した箇所に浮遊していたウイルスが付着すると、エンベロープ膜の破壊が始まる。



驚きの効果!

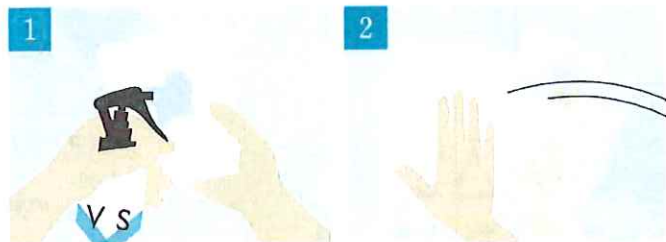
通常、抗菌剤は24時間後に99%以上菌やウイルスを減少させると抗菌剤として認定されますが、VSはわずか10分後に99.9%以上菌やウイルスを減少させます。(10分で1/5,000、24時間で1/40,000)効果は最長3か月持続するため、アルコールのように何度も作業する必要がありません。また、VSに使用している抗菌抗ウイルス剤はSIAA(抗菌製品技術協議会)が定める安全基準をクリアしているため、安全にお使いいただくことができます。



使い方は簡単!

ご自身で簡単に塗布することができるため、専門業者にコーティング作業をお願いする必要はありません。使い方は、最初に塗布する場所の汚れや水分を取り除き、キッチンペーパーや雑巾等にVSを染み込ませて、塗りムラや拭き跡がなくなるまで塗り伸ばすだけ。^{※1}コーティングの表面は十数秒で乾燥するため、触っていただいてもコーティングは剥がれません。^{※2}

※1 塗った部分と塗らない部分で色の差がでる場合がありますが、その場合は再度全体的に塗り直してください。
※2 塗装膜が完全に硬化して密着するまでは8時間程度かかるので、それまでは水分が塗布面に付着しないように注意してください。



導入事例

VSは、(株)フェクトと(株)大川が共同開発した抗ウイルス剤で、すでに様々な場所で導入されています。

病院	市役所	保育園/幼稚園	福祉施設	食品工場
オフィス	銀行	飲食店	駅構内	空港

参照: (株)大川ホームページ <http://www.okawa-p.co.jp/company/>

ご使用いただける 素材例

各種金属

ガラス

アクリル

ポリカーボネート

木材・合板

コンクリート

タイル

※上記素材には、概ね3か月程度の耐久性があります。上記の対応資材以外は、コーティング剤が剥がれ落ちやすいため定期的にコーティングを行ってください。
※コーティング剤を濃く塗ると曇る場合があるので、ガラスや鏡にコーティングする際はご注意ください。

【ご使用上の注意】本製品は引火性の液体なので、火気の近くでは使用しないでください。

【成分】変性シリコーン、アルコール類、特殊アンモニウム塩抗菌剤

【有効期限】開封後6か月

<https://vs-coating.com>

【お問い合わせ】

お問い合わせはコチラ



試験結果報告書

依頼者名 株式会社大川 殿
品名 VS 1点
試験項目 抗ウイルス性試験

2020年11月4日提出の試料に対する試験結果は下記の通りです。

一般財団法人 日本繊維製品品質技術センター
神戸試験センター 射本



記

○試験方法

ISO21702

「Measurement of antiviral activity on plastics and other non-porous surfaces」

○試験概要

- 試験ウイルス：Severe acute respiratory syndrome coronavirus 2 (SARS-CoV-2)
NIID 分離株；JPN/TY/WK-521 (国立感染症研究所より分与)

○試験結果

1) 本試験

- 試験ウイルス：SARS-CoV-2 NIID 分離株；JPN/TY/WK-521 (国立感染症研究所より分与)
- 試験ウイルス懸濁液濃度： 1.2×10^7 PFU/ml

検体		ウイルス感染価 (PFU/cm ²)(注2) 常用対数値			抗ウイルス 活性値 [R] (注3)
		常用対数値		常用対数値平均値	
未加工品 (注1)	接種直後 [U ₀]	n1	5.52	5.53	
		n2	5.52		
		n3	5.55		
	24時間放置後 [U ₁]	n1	5.04	5.04	
		n2	5.03		
		n3	5.06		
VS (加工品)	24時間放置後 [A ₁]	n1	< 1.80	< 1.80	
		n2	< 1.80		
		n3	< 1.80		

(注1) 対照試料として、未加工品 (依頼者提出) を用いた。

(注2) PFU: plaque forming units、 (注3) 抗ウイルス活性値 $R = U_0 - A_1$

VS スプレーボトルタイプ

VS スプレーボトルタイプは、Si-O 結合をベースとする抗菌抗ウイルスコーティング剤です。

1 液型で硬化乾燥が早く、拭き上げるだけで容易に施工が可能です

〈特徴〉

1. 抗菌・抗ウイルス性を有する。 ※病気の治療や予防を目的とするものではありません。
2. アルコール主体で環境性に優れる。
3. 1 液型で硬化乾燥が早く、拭き上げるだけで容易に施工が可能。
4. SIAA(抗菌製品技術協議会)「抗ウイルス加工製品」認証 (登録番号:JP0612820X0002C)

〈使用方法〉

- ① 下地処理：油分など汚れ・水分を除去する
- ② 塗 布：キッチンペーパーやウエス等に原液を適量しみこませ、塗り伸ばします(10g/m² 以下)
塗りムラや拭き跡がなくなるまで拭き上げる。
- ③ 塗 布 後：水分が塗布面に付着しないように放置する(30 分程度)

〈塗膜性能〉

試験項目	試験条件	試験結果
耐 衝 撃 試 験	JIS K 5600-5-3 落球試験 300g×500 mm(直径 25.4 mm)	異常なし
耐 摩 耗 試 験	JIS L0849 学振摩耗試験に準拠(2N 荷重/200 往復)	異常なし
耐 溶 剤 性	エタノール ラビングテスト(500g 荷重/10 往復)	異常なし
耐 湿 試 験	50°C×98%RH×100 時間	異常なし
抗 菌 性 試 験	JIS Z 2801(フィルム密着法) 緑膿菌 抗菌活性値	5.8
	JIS Z 2801(フィルム密着法) 大腸菌(O157:H7) 抗菌活性値	≥5.0
抗 か び 性 試 験	JIS Z 2801(フィルム密着法) クロカビ 抗かび活性値	2.7
抗ウイルス性試験	ISO 21702 A 型インフルエンザウイルス 抗ウイルス活性値	≥4.6
	ISO 21702 ネコカリシウイルス 抗ウイルス活性値	4.0
	ISO 21702 新型コロナウイルス(SARS-Cov-2) 抗ウイルス活性値	≥3.2

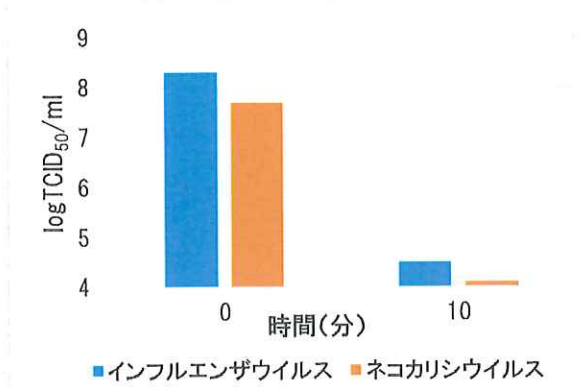
上記試験結果より、新型コロナウイルスは「99.9%以上」減少させている

※ 素材:SUS304 膜厚:0.2~0.3μm 硬化条件:常温 1 日以上放置後試験

※ 抗菌性試験、抗かび性試験、抗ウイルス性試験は、ポリカーボネート板にて試験

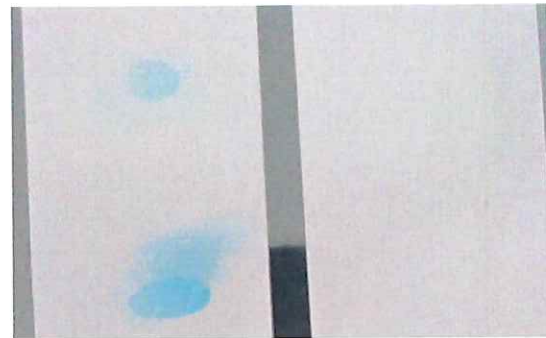
※ 日本繊維製品品質技術センター 神戸試験センター の試験成績証明書より抜粋

〈参考 抗菌剤での試験データ〉



10 分後に、インフルエンザウイルス感染量を約 1/6000 以下、ネコカリシウイルスの感染量を約 1/5000 に不活性化

〈抗菌抗ウイルス性の可視化〉



専用の指示薬を滴下・拭き取りすることで、抗菌/抗ウイルス効果が発揮しているかの可視化が可能。

(左試験片は塗装済みで青く変色する。右は未加工で変色しない)

〈人体安全性試験〉

試験項目	確認事項	試験法	安全性基準	結果
急性経口毒性	飲み込んだ時の有害性	ラット/マウスに対する単回投与試験	LD50 が 2,000mg/kg 以上	2,000mg/kg 以上 基準適合
皮膚一次刺激性	長く触れた際の炎症など	ウサギを用いる皮膚一次刺激性試験	P.L.I(一次刺激性指数)が 2.00 未満	P.L.I:1.3 基準適合
変異原性	DNA への影響	原則、Ames 試験	突然変異誘起性が陰性であること	陰性 基準適合
皮膚感作性	アレルギー	Maximization test	陰性であること	陰性 基準適合

※Ames 試験: 自身でアミノ酸を作れない細菌が抗ウイルス剤の作用により、DNA 変異し、アミノ酸を作れるようになるか否かを確認する試験

※Maximization test: 抗ウイルス剤を含む溶液を皮内注射し、一定期間後の皮膚反応を評価

〈塗装時の注意事項〉

- 塗装環境 ・通気性の悪い環境下での使用は避けてください。
- 前処理 ・素材表面の油分、水分、汚れは中性洗剤等により十分に除去してください。
- 塗装 ・塗装は速やかに行ってください。
- 乾燥 ・乾燥時に有機ガスが発生しますので換気、排気を十分に行ってください。
- 保管 ・塗料は、冷暗所に保存してください。
・本塗料は空気中の水分と反応する性質がありますので、ご使用後は密栓してください。
- 廃棄 ・塗料の使用残や廃液の処理は SDS(安全データシート)に従ってください。
- 取扱注意 ・可燃性の有機溶剤を使用しているため、火気のある所では使用しないで下さい。
・皮膚や粘膜、特に眼などに刺激性があるため接触しないよう十分注意してください。
・接触した場合は多量の水で洗浄してください。
- その他 ・詳細な内容については、製品の SDS をご参照下さい。